

「新技術等活用支援モデル事業」申請書  
新技術のフィールド検証 = 現場施工依頼タイプ

平成 年 月 日

徳島県知事 殿

申請者 住 所  
氏 名 印

(法人にあつては名称及び代表者の氏名)

電話番号

新技術等活用支援モデル事業の主旨を理解のうえ、実施要領を遵守し、下記のとおり関係書類を添えて申請します。

1. 技術名称 (登録商標)
2. 添付書類 (書類の記載内容は、現時点での開発進度に応じた内容を記載すればよい)
  - (1) 提出書類 (必須)  
概要説明書
  - (2) その他資料
    - a 新技術等の詳細説明資料及び見本
    - b 新技術等が登録の基準に適合していることを証する書類
    - c 歩掛関係資料
    - d 会社案内、パンフレット等
3. 担当者

氏 名	
会 社 名	
所 属	
所 在 地	
電 話 番 号	
ファクシミリ	
メールアドレス	

## 概要説明書

概要説明書（その1）

新技術等の名称	
副 題	
分 野	<input type="checkbox"/> 土木分野 <input type="checkbox"/> 建築分野 （必ず、少なくとも一方を選択してください。）
区 分	<input type="checkbox"/> 技術 <input type="checkbox"/> 工法 <input type="checkbox"/> 製品 <input type="checkbox"/> 材料 <input type="checkbox"/> その他
キ ー ワ ー ド (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 徳島県の公募テーマ（ ） <input type="checkbox"/> 安心・安全 <input type="checkbox"/> 経済性 <input type="checkbox"/> 耐久性 <input type="checkbox"/> 施工性 <input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 品質・出来高 <input type="checkbox"/> 情報化 <input type="checkbox"/> リサイクル <input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> 生産性向上 <input type="checkbox"/> 木材利用 <input type="checkbox"/> 景観 <input type="checkbox"/> 伝統・歴史・文化
	自由記入
開 発 目 標 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 省人化 <input type="checkbox"/> 省力化 <input type="checkbox"/> 経済性の向上 <input type="checkbox"/> 施工精度の向上 <input type="checkbox"/> 耐久性の向上 <input type="checkbox"/> 安全性の向上 <input type="checkbox"/> 作業環境の向上 <input type="checkbox"/> 周辺環境への影響抑制 <input type="checkbox"/> 地球環境への影響抑制 <input type="checkbox"/> 品質の向上 <input type="checkbox"/> 省資源・省エネルギー <input type="checkbox"/> リサイクル性の向上 <input type="checkbox"/> その他（ ）
開 発 体 制	<input type="checkbox"/> 単独 <input type="checkbox"/> 産・産 <input type="checkbox"/> 産・学 <input type="checkbox"/> 産・官 <input type="checkbox"/> 産・官・学 <input type="checkbox"/> 産・官
	開 発 会 社 (具体的な開発会社があれば記入)
公的支援助成等の関連の有無	<input type="checkbox"/> ある名称（ ） <input type="checkbox"/> なし
新 技 術 等 の 概 要	
<p>1. 何について何をする技術か？</p> <p>2. 従来はどのような技術で対応していたか？</p> <p>3. 公共工事のどこに適用できるか？</p>	

## 概要説明書（その2）

新技術等の名称	
新技術等のアピールポイント（課題解決への有効性）	
新規性及び期待される効果	
1．どこに新規性があるのか？（従来技術と比較して何を改善したのか？）	
2．期待される効果は？（新技術等活用のメリットは？）	
適応条件（計画）	
1．自然条件	
2．現場条件	
3．関係法令等	
適応範囲（新技術等が適応可能な諸条件＝地形、地質、気象条件、設計条件等の説明）	
1．適応可能な範囲	
2．特に効果が高い適応範囲	
3．適応できない範囲	
4．適応するにあたり、関係する基準及びその引用元	
留意事項	
1．設計時	
2．施工時	
3．維持管理時	
4．その他（特許抵触等）	



概要説明書（その4）

新技術等の名称	
新技術アイデアの概要（概要図、写真等）	